



**Amir Tsarfati**

**2021年8月19日「大患難は始まったのか」**

— 聖書から見る大患難 —

今夜、皆様とご一緒する機会に恵まれ、光栄です。ニューメキシコ州のこの部分は、初めてです。ニューメキシコ州で唯一訪れた事があったのはラトン市だけで、7年前にコロラド州で話した後、少し立ち寄り、またコロラドに戻りました。しかし、今回はアルバカーキに降り立って、本当に嬉しいです。さて、世界はすでにピークに達したと思います。これからは下る一方で、それも加速度を増しています。私達は国が次々と崩壊するのを目にしている、機能不可能な政府を見ています。もはや、国民は政府を信頼しておらず、経済は崩壊。世界中の非常に多くの地域で暴動が起っています。しかし、すべてがCOVIDと関連しているわけではありません。少し前、南アフリカで起きたことは、それとは何の関係もありませんでした。他にも、現在イランで起っている事、それはイランのアラブ系少数民族に対する抑圧が関連している、現在、反乱が起っています。そして、国の残りの部分はこの邪悪な政権に抗議しています。私達は、中東の残りの部分で戦争を目にしている、世界中の他の場所でも戦争が起るのを見ています。この世界は下落の一途を辿っていますが、私達はまだここにいます。そして、私達がここに在る限り、それには目的があって、またそれには期限があります。そして我々は、ここから出る時まで従事しなければなりません。だから、現在起っている悪いことに気を取られて、まるでこれで終わるかのように激しく鬱になるような事のないようにしましょう。違います。私達には、はるかに大きな希望があるのです。ここはもう私達の家ではありません。皆さん、それを知っていますね。私達には天の国籍があって、私達は今、キリストを代表する大使としてここに在るのです。私達はここに在り、そして主がこの世に戦争を仕掛ける時、皆様ご存知のように、大使は、通常、祖国に呼び戻されます。だから皆さん、理解してください。私達にとっては、これで最後ではありません。私は今は終わりの時代だと心から信じています。ヨハネが言ったように、今は最後の時間です。そして、私はまた、兆候は私達の周り全体にあると本当に信じています。しかし、私はまた、私達は非常に慎重に神の御言葉を解釈しなければならないと信じています。私達は、御言葉を正しく解き明かさなければなりません。なぜなら、私達が目にして居るのは、私達の周りで起っている事すべてがセンセーショナルリズム、恐怖、不安につながり、そしてまた、間違った聖書の解釈に繋がるからです。残念ながら、その為非常に多くの方が信仰から離れて行きました。そこで、今晚のトピックは次のとおりです。

「大患難は、始まったのか？」

信じられないかもしれませんが、キリスト教は分断されてしまいました。ひとつは、大患難は起こりもしない事と信じる者。それから、大患難は起こると信じ、なおかつ、多分、それはもう始まった、それは私達、教会のためのものだと信じる者達。両方が間違っています。聖書は、それについて非常に明確ですから。さて、すべてが素晴らしいか？いいえ。もちろん違います。私達の悪夢、現在の悪夢は、2019年12月に始まりました。12月末から1月と2月にかけて、私達は皆知っている通り、このCOVID-19です。だからこれはCOVID-19と呼ばれるのです。それは2019年末に始まりました。その後、もちろん明らかに分かる通り、私達は、まだそれから抜け出ていません。変種や何か異なるものが出て、私達はまた、その大きな雲の下にいます。世界中でロックダウンが起り、ほとんどの場合、正しい理由でもありません。世界中で死者数は推定四百万人、ところで、そのほとんどはブラジルやインド、その他、多くの場所が襲われました。その武器化、そして教会の分裂、教会がこれほど分裂するのを私は、今まで見たことがありません。見たことが

ないほどに、家族が激しく分裂しています。現在ほど、友人同士が口も聞かなくなるのを今まで見たことがありません。敵はCOVID-19を通じて教会に入り込み、私達の家族や私達の友情に入り込む事に大成功しました。私達は皆、知っている通り、アメリカでは2020年5月25日のジョージ・フロイドの死後、暴動が米国中の全都市で始まり、そして、異なる国々でも起こっています。ここだけに留まらず、英国が続き、そして、世界中の他の場所へと、そのナンセンスは続いています。それで足りなければ、4月14日、今年です。イランはウランを60%まで濃縮する計画を発表し、今、彼らは、それを90%まで上げようとしています。つまり、ジハードの国が数週間以内に核所有国になろうとしているのです。数週です。数ヶ月もかかりません。それで足りなければ、5月10日、イスラエルが攻撃されたニュースを聞きました。2週間近く、ガザのテロリスト、ハマスとイスラム・ジハード主義によって、何千発というロケットが発射され、ロケットの10%が彼らの頭上に落ちました。…念の為。残りの90%の内90%は、実際にイスラエルのシステム、アイアンドームによって撃墜され、そして噂では…前にもそれを聞いていますから、ハマスがイスラエルの神に対して怒っているそうです。イスラエルに命中しないよう、主がロケットを迂回させているから。「彼らの神が、ロケットを迂回させて当たらないようにしている！」



さて、それで足りなければ、キリスト教信者は、引き続き世界中で最も多く迫害されています。今日は、さらにです。現在、ガザにはほとんどクリスチャンが残っていません。イランやパキスタン、アフガニスタン、その他の場所で、クリスチャンはほとんど機能することが出来ず、彼らは激しく迫害されています。インドネシアやマレーシアでも。これらは世界最大のイスラム教国家です。ですから私達は、文字通り、世界が崩壊するのを見ています。しかし私達は覚えておく必要があります。問題は、「大患難は始まったのか？」たぶんこれは、まっとうな疑問でしょう。私達の周りで恐ろしいことが起こるのを見ていますから。しかしこれは、イエスが大患難について説明された時に本当に意図されたものでしょうか？また、大患難は誰の為でしょうか？非常に興味深い事に、人々は、しばしばトラブルと大患難を混同しがちです。彼らはしばしば、大きなトラブルは正式に大患難の始まりになり得ると考えます。もちろん、それは真実ではありません。トラブルとは困難または問題であって、この中で人生に困難や問題の無い人はいますか？この中に、完璧な人はいますか？良かった。そしてこのトラブルもなく困難の無い状態を 皆さんは、これまで楽しんで来ましたか？それとも、生まれた時から、常に困難や問題に遭遇していますか？ですから、すべてが大患難ではありません。私達は重々注意する必要があります。世界中で戦争があり、戦争の噂があります。ところで、現在は、これまで以上にそうです。皆さん、今こうして話している間にも、米軍はイラクで大きな脅威に晒されています。彼らは、皆さんの第46代大統領とイラクの首相との会談に対し、激怒しているのです。私は名前を言いませんが、第45代目と第46代目の間に、明らかに驚愕の違いを見ることができます。ところで、私は政治関係者ではありませんし、どの政党も推進していません。私はイスラエル人で、私はここでは投票しません。というか、私もしようとすれば出来ますが…それはさておき、私はしたくありません。さて、聞いてください。ほら、パンデミックでさえ新しいものではありません。コロナウイルスでさえも新しいものではありません。念の為に言うておきますが、このウイルスは、ずっと昔からありました。パンデミックは昔からありました。この中に、ポリオの時代に生きていた人はいますか？ポリオ・パンデミックの時代、ニューヨーク市の当局者、ソーシャルワーカーが家に侵入して、子供たちを両親から離していたのです。皆さん、知っていましたか？もちろん、当時、もしフェイスブックが存在していたら、あっちこっちでデモが起こっていたでしょう。しかし、それは存在せず、現在のように誰も抗議しませんでした。私が言いたいのは、物事は正しい視点で見なければならぬ、という事です。自由の侵害はずっと昔から存在します。ちなみに、パンデミックはイエスご自身が終わりの時の特徴として語られた多くの一つに過ぎません。イエスはマタイ24章で、終わりのしるしについて尋ねた弟子たちに答えて、こう言われました。「人に惑わされないように気をつけなさい。」私は驚きました。基本的に主は、こう仰っているのです。



「終わりの時には、非常に多くの欺瞞が起こる。」 「人に惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名のる者が大ぜい現れ、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わすでしょう。また、戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気をつけて、あわてないようにしなさい。』」

ハロー？ 「気をつけて、あわてないようにしなさい。」そして、彼は続けて仰います。「これらは…（何ですか？皆で言いましょ。）”必ず”起こることです。」さて、なぜ彼は「必ず」と言っておられるのですか？なぜでしょう？なぜなら、私達は人間で、私達は本当に弱い生き物です。見てください。私達は明日の事もほとんど分かりませんが、神は時間を越えた存在で、神は、すでにすべてをご覧になりました。だから、主が「必ず起こる」と私達に仰る時、なぜ私達にそれを告げておられるのか分かりますか？なぜなら、主は、すでにそれが起こったことをご存知だからです。私達はそこにいて、それを見たわけではありませんが、主はそれが起こっているのをご覧になったのです。だから、主は、「多分」とか、「きっと」とか、「起こるはずだ」とか、示唆しているのではありません。主は、それが起こらなければならないと言っているのです。だから、そこに交渉の余地はありません。好もうと好まざるとも、物事は起こります。ところで、誰もあなたに尋ねていません。そして、主が仰ったことを見てください。主は言われました。「**民族は民族に…**」ところで、ギリシャでは民族は民族に対して。ですから、必ずしも国籍ではありません。一つの国の中で民族同士が戦います。まさにイランで見ているもの、まさにイラクで見えるものです。それがシリアで起こっていて、それがリビアで起こっていて、それを、現在、レバノンで見えています。中東全体が、全て、民族対民族です。そして、彼は言われます。「**国は国に敵対して立ち上がり…**」帝国です。中国、アメリカ、ロシア、大国の話です。そして彼は言いました。「**方々にきぎんと、（パンデミックに疫病、疾病）地震が起こります。**」そして洪水や、鉄砲水、皆さん、ここ数週間で、ドイツやベルギー、オランダで何が起こったか、見たことがありますか？それは前例のないことです。そして、彼が言ったことを見てください。

「しかし、そのようなことはみな、産みの苦しみの初めなのです。」（マタイ24:5-8）

ところで、「患難」とは、大きなトラブルや苦しみの原因であって、「患難」という言葉でさえ、必ずしもイエスが話しておられる大患難についてではありません。私達は、患難と、聖書が語っている大患難とを区別する必要があります。そして、イスラエルが鍵です。なぜか。それは、約束、預言では、その7年間の期間は皆さんの為ではありませんから。それは、国家または異邦人に与えられたものではありません。それは大天使がダニエルに与えたもので、イスラエルに関してです。イスラエル国家と、エルサレムの都に関して。御使いが、ダニエルに言っています。「**七十週が定められている。**」（何の為に？）「**あなたの民とあなたの聖なる都については、七十週が定められている。それは、そむぎをやめさせ、罪を終わらせ、咎を贖い、永遠の義をもたらし…**」このように、素晴らしい事が、この大患難の終わりに起こります。

これは何の目的も無しに、ただ世界を損ない、世界を破壊するものではありません。そうではなく、神は常に、私達にとってはるかに優れた事を心に留めておられます。そして、彼は言いました。

「幻と預言とを確証し、至聖所に油をそそぐためである。」（ダニエル9:24）

驚きです。「**それゆえ、知れ。悟れ。引き揚げてエルサレム(ソルトレーク・シティーではありません。)を再建せよ、との命令が出てから、油そそがれた者、君主の来るまでが…**」

君主は非常に重要なものですが、「油注がれた者」は、反キリストではありません。油注がれた君主は、キリストです。マシアッハ。そして、彼は言いました。「**油そそがれた者、君主の来るまでが七週。**」また六十二週の間、神殿とエルサレムの再建の為に七週、そして彼がそこに立ち入るまで、六十二週です。ダニエルは大天使から受け取り、後に私達全員に伝えた預言の「週」とは、聖書の年の7年間です。これがすごい事に、ここで、エルサレム再建の命令が出された瞬間から、メシヤがエルサレム入りする瞬間までの正確な年数が分かります。それは69週間で、69週 x 7年 x 360日、太陰暦ですから…皆さんは、すべてを変えてしまいましたが…聞いてください。173,880日です。法令がアハシュエロスによって与えられたその瞬間から、イエスがロバに乗って都入りして預言者ゼカリヤの預言を成就された瞬間、正確にその日までが、173,880日です。69週。そして、彼は言いました。「もう1週ある。」彼は言いました。「**その六十二週の後…**」最初の七週は過ぎて…「**…油そそがれた者は断たれ、彼には何も残らない。**」言い換えれば、主は都に入られた

のは、君臨する為ではなく、贖いの死の為です。なぜ贖いの死なのか？それは、主はご自身の事で死ぬのでは無いからです。彼は死に値するような事は何もしていません。ご自身のためではありません。「…やがて来たるべき君主の民が…」これは、別の君主です。言い換えれば、ダニエルは、こう言っているのです。

「いいですか、イエスは来なければならぬ。そして主の死後、エルサレムは破壊され、神殿は失くなります。」そして、将来的に神殿と都を破壊したローマ帝国が来た同じ領域から、その民が、「やがて来たるべき君主の民が町と聖所を破壊する。その終わりには洪水が起こり、その終わりまで戦いが続いて、荒廃が定められている。彼は…」その君主、その大帝国、将来のローマ帝国の指導者は、「彼は一週の間、多くの者と堅い契約を結び…」未来形です。言い換えれば、ダニエルは言いました。イスラエルとエルサレムについて、「まだ将来的に残っている7年間は、全て、イスラエルとエルサレムに関してです。」それがすべてです。だから私はいつも言うのです。大患難はイスラエルの救いのためです。おそらく、それが唯一、彼らを救いに導くものなのでしょう。ダニエルは言います。「半週の間、いけにえとささげ物とをやめさせる。」言い換えれば、それは将来の事で、その時、エルサレムには別の神殿が立っている。そして、その7年間の内、彼は3年半の間イスラエルを欺きます。そして、彼は、彼らの礼拝を止めさせ、自分を神として拝む事を要求します。

**「…荒らす忌むべき者が翼に現れる。ついに、定められた絶滅が、荒らす者の上にふりかかる。」**

**(ダニエル9:24-27)**

ですから、イスラエルの民は彼らの土地に戻り、エルサレムは彼らの手中に戻り、そして、神殿が立ってなければなりません。神殿は立っていますか？はい、良かった。聖書が第2テサロニケで告げていますから。

**「さて兄弟たちよ。私たちの主イエス・キリストが再び来られることと、私たちが主のみもとに集められることに関して、あなたがたにお願いすることがあります。霊によってでも、あるいはことばによってでも、あるいは私たちから出たかのような手紙によってでも、主の日がすでに来たかのように言われるのを聞いて、すぐに落ち着きを失ったり、心を騒がせたりしないでください。」**

見てください！当時から、フェイクニュースが存在していました！フェイクニュースです。彼らは、まるでパウロからの手紙のように見せかけて書いたのです。そして、彼は言います。「だれにも、どのようにも、だまされないようにしなさい。」聞きなさい、私はあなた方に言いました。いくつか起こらなければならない事がある。物事の順序を混乱してはいけません！まるで、キリストがすでに来たかのように彼らに惑わされてはいけません！「だれにも、どのようにも、だまされないようにしなさい。…主の日は来ないからです。」何ですか？ほら、イエスの再臨が起こるはずがありません。なぜならイエスの日が…イエスの再臨の前に起こるべき事があります。まず激しい背教が起こり、そして、反キリストが台頭します。

**「なぜなら、まず背教が起こり、不法の人、すなわち滅びの子が現れなければ、主の日は来ないからです。彼は、すべて神と呼ばれるもの、また礼拝されるものに反抗し、その上に自分を高く上げ、神の宮の中に座を設け、自分こそ神であると宣言します。」**

信じられないかもしれませんが、ユダヤ人は神殿を建てます。そして、それはエルサレムです。そして、恐らく彼らが神殿を建てることを許すであろう世界的指導者、その世界的指導者は、多分、その建物の就任式の日、実際に建物に入って、自分が神であると宣言するのでしょう。彼は反キリストであって、彼はキリストではありません。そして驚く事に、黙示録13章はダニエルが受け取った啓示で見たもの続きます。

**「また私は見た。海から一匹の獣が上って来た。これには十本の角と七つの頭とがあった。その角には十の冠があり、その頭には神をけがす名があった。私の見たその獣は、ひょうに似ており、足は熊の足のようで、口は獅子の口のものであった。竜はこの獣に、自分の力と位と大きな権威とを与えた。」**

サタンは、この世を何らかの形で完全に支配し、コントロールします。なぜなら、神の民はいなくなりま

すから。

**「…竜はこの獣に、自分の力と位と大きな権威とを与えた。」（黙示録13:1-2）**

面白い事に、偽預言者も存在します。多くの方が、これはローマ法王だろうと考えています。そうかも知れませんが、しかし、聖書は言います。「また、私は見た。もう一匹の獣が地から上って来た。」これは、彼がすでに存在することを意味します。その機関はすでにあつて、何か新しいものではありません。「**それには小羊のような二本の角があり、（外見は宗教的で）竜のようにものを言った。**」私は、彼の最近の説教を聞きましたが…それから、彼の言うことを見てください。「**この獣は、最初の獣が持っているすべての権威をその獣の前で働かせた。また、地と地に住む人々に…**」"地に住む人々"、この用語を覚えておいてください。「**致命的な傷の直った最初の獣を拝ませた。**」（黙示録13:11-12）

つまりこれは、世について、それから宗教的な人物、政治家についての話です。そして、宗教的な人物が、基本的に宗教的権威、もしくは世に対して第一の獣を崇拜する宗教的承認の印を与えます。しかし、明らかに私達はそこにはいません。ええ、私達は世界統一政府へ突き進むのを見えています。ほら、今後、起こる事を見てください。私は預言者（プロフェット）ではありません。私は非営利（ノン・プロフィット）団体の人間です。聞いてください。しかし、私には言えます。政府への信頼は、今や失われています。ここだけではありません。メンタル的な能力の問題で…いいえ、世界中です。イギリス、フランス、オランダ、ベルギー、スカンジナビア諸国に行ってみてください。イスラエルに行ってみてください！私達には新しい政府があります。「変化の政府」なんという変化でしょう…私達はこれをヘブライ語またはイディッシュ語で"Oy Vey"と言います。ほら、世界は政府を信頼しなくなりました。それからどうなるか分かりますか？オーストラリアに行って、何が起きているか見てください。私が言おうとしているのは、政府が一つの国を支配するこのシステムは、大勢の人の目の前でその本質を失いつつあり、そして彼らは何か違うものを探します。何か新しいもの、変化…すると、すべてがばらばら崩壊する前に、世界統一政府が、彼ら全員に訴えるでしょう。…私達が皆ここから出る前に。

さて、これを見てください。黙示録は言います。

**「また、小さい者にも、大きい者にも、富んでいる者にも、貧しい者にも、自由人にも、奴隷にも、すべての人々にその右の手かその額かに、刻印を受けさせた。また、その刻印、すなわち、あの獣の名、またはその名の数字を持っている者以外は、だれも、買うことも、売ることもできないようにした。」**

まだ、そこまで行っていません。そして、忘れないでください。最も重要なこと、聖書的に、ここで大患難が始まる時、私達はここには居ません。第2テサロニケ。「**私がまだあなたがたのところにいるとき…**」パウロ、ユダヤ人の男が、ヘブライ語なまりで言っているのが想像できます。「**忘れたのか？！**」

**「私がまだあなたがたのところにいるとき、これらのことをよく話しておいたのを思い出しませんか。あなたがたが知っているとおりに、彼がその定められた時に現れるようにと、いま引き止めているものがあるのです。」**

彼は反キリストについて話しながら言っています。「ほら、彼はまだ現れる事が出来ない、引き止めている者があるのだ。」しかし、彼は言います。「**不法の秘密はすでに働いています。**」不法は、創世記3章から存在します。不法とは何ですか？神の律法が破られ、順応される事です。しかし、彼は言います。「**しかし…今は引き止める者があつて、自分が…**」何ですか？一緒に言いましょ。『**取り除かれる時まで引き止めているのです。**』何かが反キリストの台頭と、そして、純粋な邪悪、この世に対する悪魔の支配を止めているのです。それは、"引き止める者"です。そして、それが聖霊であるなら、地球上で、唯一、聖霊が封印されているのは教会です。これを見て下さい。彼は取り除かれなければなりません。「**その時になると…**」言ってください。「その時になると」彼は、私達がここから出ていくまで明らかに出来ません。ここから出

るだけではありません。私達は歩いて行くのではなく、ここから連れ出されるのです。「ああ、さよなら…？」いいえ！パーン！とここから出て行くのです。さて、これを見てください。

「その時になると、不法の人が現れますが、主は御口の息をもって彼を殺し、来臨の輝きをもって滅ぼしてしまわれます。不法の人の到来は、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴い、また、滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行われます。なぜなら…」何ですか？「なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。」（第二テサロニケ2:5-12）

言い換えれば、私達がここにおいて福音を分かち合う限り、彼らがそれを拒絶する限り、彼らは救われるために真理への愛を受け入れません。「それゆえ神は…」ほら、神は人を地獄に送る事を喜ばれません。見てください。しかも拒絶しただけではありません。聖書は言います。「悪を喜んでいた…」彼らは、街中でパレードをします。センセーショナルリズムは、今の世の中、今日の教会で主流です。ほら、私はこの世に生きていて、現在起こっている事を見えています。私達は皆、それを見えています。政府、知事、世界保健機構や、その他、CDC、私達は皆、知っています。多くの点で、多くの場合、決定は純粋に国民を思っている事ではありません。私達は皆、それを知っています。そうですね？しかし、それをセンセーショナルにし始めると、あっという間に…例を挙げると、誰かが大患難が始まったとオンラインで結論づけました。なぜか？「"コロナ"とは、冠の意味で第一の馬に乗っている者は冠を被っているから！」それを聞いて私は…でも、コロナは20年前から存在します。それがビール祭りの時期だと彼が考えなかった事を神に感謝しますよ。考えてみてください。ほら、世界中にウェブサイトがあって、クリスチャンが、彼らの結論としてこれを使っているのです。「今は、大患難の只中だ。」非常に残念です。世界の目に、私達はとてもばかげて映っていますから。黙示録で彼に冠が与えられる事が分かります。でも、それはコロナではありません。その白い馬の乗り手に冠があります。物事をそんな風にセンセーショナルに受け取ってははいけません。それでは機能しません。覚えていますが、アメリカのメディアチームがイスラエルに現れて、2017年の事でしたが、彼らは私にインタビューを申込みました。星のしるしについて。「しるし！世界は、9月23日に終わるのか？聖書の中の携拳の預言は、まさにその日終末の大惨事が起こると予測している！」彼らは私の所にインタビューに来たのです。私は彼らの大騒ぎを破壊しました。そして言ったのです。「残念ですが、あなたが携拳の日付を知っているなら、あなたは完全に聖書から外れています。その日、その時は誰も知らない。だから、ごめんなさい。」と。でも、彼らは何か決意して…「ふむ…正しい星の配置…黙示録12章…巨大なしるしが天に現れ…ひとりの女が太陽を着て、月を足の下に踏み、頭には十二の星の冠をかぶっていた…完ぺきだ！」いいえ、違います。この中で、2000年問題の最中に生きていた人はどれぐらいいますか？では、正直に言ってください。2000年問題のサバイバルキットを買った人は、どれぐらいいますか？これを見てください。「2000年問題、個人のサバイバルガイド」。



「残念ですが、あなたが携拳の日付を知っているなら、あなたは完全に聖書から外れています。その日、その時は誰も知らない。だから、ごめんなさい。」と。でも、彼らは何か決意して…「ふむ…正しい星の配置…黙示録12章…巨大なしるしが天に現れ…ひとりの女が太陽を着て、月を足の下に踏み、頭には十二の星の冠をかぶっていた…完ぺきだ！」いいえ、違います。この中で、2000年問題の最中に生きていた人はどれぐらいいますか？では、正直に言ってください。2000年問題のサバイバルキットを買った人は、どれぐらいいますか？これを見てください。「2000年問題、個人のサバイバルガイド」。

このように文脈は大事です。我々は十分に注意する必要があります。世界中の牧師や指導者の中には、ワクチンが獣の印であるとのめかしています。私は毎日質問を受けます。「それは獣の印ですか？」獣がここにはいないのに、どうして、それが獣の印になり得ますか？獣がここにはいないのに、どうやって拜むのですか？そして、彼らは言います。「これは獣の"システム"であって、新しいものです。」"獣のシステム" 私は聖書の中にそれを探しましたが、見つけることが出来ませんでした。ただ、一つ言えるのは、その方向で行けば、iPad や iPhoneもそのシステムの一部です。分かりますか？ 私達は重々注意する必要があります。黙示録13章は告げています。

「また、小さい者にも、大きい者にも、富んでいる者にも、貧しい者にも、自由人にも、奴隷にも、すべての人々に…」どこに？「その右の手かその額かに、刻印を受けさせた。」（黙示録13:16）

ここ（額）にワクチンを受けた人を見た事がありますか？いいえ。ほら、だから私は言っているのです。私達は重々注意して、物事を文脈から取り除かないようにしなければなりません。獣の数があり、獣の名前があって、獣の崇拝があります。はい、今は終わりの時代です。はい、反キリストが興るのが私にも見えます

し、匂いがします。舞台は整っています。はい。しかし覚えておいてください。11月の中旬にクリスマスの電飾を見たら、それは感謝祭が近づいている事を意味します。まず、携挙が起こらなければなりません。それを覚えておいてください。この中に、「ブラッドムーン」の犠牲者はどれぐらいいますか？おお…私は、その事で攻撃されたのです。本当に…ほら、黙示録6章は告げています。

**「私は見た。小羊が第六の封印を解いたとき、大きな地震が起こった。そして、太陽は毛の荒布のように黒くなり、月の全面が血のようになった。」（黙示録6:12）**

はい、それはそこにあります。ただ、それは第六の封印で、しかも、血のようになるのは複数の月ではありません。単数形の”月”です。この間確認した時も、同様に単数形で複数形ではありません。私達は、ベレア人のようにならなければなりません。つまり…ベレア人とは、どういう人達でしたか？使徒17章を覚えていますか？

**「兄弟たちは、すぐさま、夜のうちにパウロとシラスをベレヤへ送り出した。ふたりはそこに着くと、ユダヤ人の会堂に入って行った。ここユダヤ人は、テサロニケにいる者たちよりも良い人たちで…」**どのよう

**に？「非常に熱心にみことばを聞き、はたしてそのとおりかどうかと毎日聖書を調べた。」**

**（使徒の働き17:10-11）**

このように、私達は聖書を調べなければなりません。YouTubeを見るのではなく。聖書を調べるのです。周りを見るのではなく、聖書を調べる。そうして備えるのです。聖書を調べると、そして、終わりの時のユダヤ人の帰還について聖書が語っているのを見て、そして、ユダヤ人が彼らの土地に戻るのを見ると、ハロー！それなら、それは真実です！「ああ、私は、彼らが本当のユダヤ人とは思わない。」彼らは何者ですか？…エスキモー？ヒトラーにそれを言ってください。彼は正確に彼らの名前、彼らの住所を知っていて、彼らを一人一人追いかけたのです。大患難が何であるかを知らない限り、それがいつ始まったのか分かりません。そして、それが問題です。人々は、それを軽視します。ロックダウンを大患難にしています。冗談でしょ？大患難とは何か知っていますか？それは、神の裁きと考えられる一連の出来事で、何に対してですか？見てください。天におけるサタンの軍勢と地上の邪悪な人々に対してです。そしてまた、イエスの再臨の時に主をメシアとして受け入れるように、イスラエルを備えます。それは私達が今見ているものではありません。キリストの地上再臨を指すキリストの日と、この世に対する神の裁きについて語る主の日との違いを、私達は覚えておかなければなりません。これは何度も出てきますから、私達は、それを覚えておく必要があります。私達は、この2つを混同してはいけません。

大患難は主の日です。皆さん。そして、ちなみに、それには多くの名前があります。大患難、これは一般的に地球上の事を語っています。神の御怒り、邪悪な人々に対する神の御怒り。試練の時、これは、その時代の聖徒たちに対して。そしてヤコブの苦難の時、これはもちろん、イスラエルに関連します。これを覚えておく必要があります。これらを混同しないでください。主の日には3つの層があって、まず、神はサタンとその悪魔に対処され、それから神は諸国に対処され、そして、神はイスラエルに対処されます。これを覚えておいてください。その期間は聖書的な暦で7年間、聖書を通して、それがはっきりと見られます。そして先ほども言ったように、ダニエルによると、それは第70週目です。すなわち聖書的暦の7年間、それぞれ360日で、正確に2520日です。さて、なぜ私はそれを言っているのか？なぜ、この場合、数字がそれほど重要なのか？なぜなら、「携挙は大患難の真ん中で起こり得る」と言っている人達がいるからです。彼らは実際にその日を知っています。私達は大患難の長さを正確に知っていますから。もし、それが2,520日なら、大患難が始まった1,260日後に私達は携挙されます。私達には、その日その時は分かりません。分かりませんか？大患難の最後であっても、つじつまが合いません。神の目的は何ですか？バンジージャンプ？私達を取り上げ、すぐに私達を投げ捨てる？それではつじつまが合いません。イエスは、あそこに私達のために場所を備えに行かれたのですから。なのになぜ、私達はそこで過ごす時間もないのですか？ハロー？さらに、私達は結婚式に出席しなければなりません。なんと、私達は花嫁なのです！主の日、大患難は、イザヤ書やその他多くの場所で描写されています。イザヤは告げます。

「その日、主は天では天の大軍を、地では地上の王たちを罰せられる。彼らは囚人が地下牢に集められるように集められ、牢獄に閉じ込められ、それから何年かたって後、罰せられる。」（イザヤ24:21-22）

また、主の日はヨエル書の中にもあります。ところで、ヨエル書は素晴らしい書で、主の時と、その後に来る事の2層を描写しています。皆さんにそれが見えるか分かりませんが、ヨエルが述べたことを見てみましょう。まず、「このようなことがあなたがたの時代に…」彼は2,700年前の当時の彼らの日々について語っていて、「…また、あなたがたの先祖の時代にあったろうか。」（ヨエル1:2b）それから、彼は主の日を描写しています。当時はユダでした。彼は1章15節で、それを言っています。しかし、その後、ヨエルは、さらに進んで告げています。

「これをあなたがたの子どもたちに伝え、子どもたちはその子どもたちに、その子どもたちは後の世代に伝えよ。」（ヨエル1:3）

将来について、主の日、イスラエル、イナゴのような軍隊の侵略…しかし、思い出してください。黙示録も、このことについて語っています。ご覧の通り、これは将来起こる別の事柄です。そして、イスラエルの預言者には、すでに、それが見えていたのです。新約聖書だけがこれを描写しているのではありません。ブラッドムーンを見てください。次です。そうすれば、皆さん分かるでしょう。はっきりと分かります。見てください。この終末に起こる



一連の出来事、私達が今生きている教会の時代があって、携拳がいつ起こるのか私達には分かりませんが、一つ私達に分かっているのは、もちろん、エゼキエルの戦争は起こります。はっきりと見て分かる通り、ヨエル2:31にある太陽が闇になる一連の出来事が黙示録6章で見られ、それをヨエル2章でも見えています。

黙示録16章とヨエル3章。それらは私達がここから出たときに、すべてが始まります。ほら、ブラッドムーンや日食は歴史の中で常にありました。しかし、その預言的なセットは私達がここから出たときに始まります。エレミヤはどうですか？エレミヤは、イスラエルの人々について語りました。



「まことに主はこう仰せられる。『おののきの声を、われわれは聞いた。恐怖があって平安はない。男が子を産めるか、さあ、尋ねてみよ。…』

ええ、知っていますよ。アメリカでは…でも彼が言っているのは、本当の男で、産めません。そして、見てください。

「…わたしが見るのに、なぜ、男がみな、産婦のように腰に手を当てているのか。なぜ、みな顔が青く変わっているのか。ああ。その日は大いなる日、比べるものもない日だ。それはヤコブにも苦難の時だ。…」

彼は言っているのです。「あなたがこれまで見て来た事全て、イスラエルを襲うその日は、ホロコーストでさえ比べ物にならない。」しかし、この最後の最後の約束を見てください。

「…それはヤコブにも苦難の時だ。しかし彼はそれから救われる。』」（エレミヤ30:5-7）

ダニエルでさえ、9章でそれについて語っています。それからもちろん、11章を見てください。それから12章。ここからまっすぐ…いや、止めておきましょう。では、悪魔の軍勢に行きましょう。今回、裁きが下されます。イザヤ27:1。

「その日、主は、鋭い大きな強い剣で、逃げ惑う蛇レビヤタン、曲がりくねる蛇レビヤタンを罰し、海にいる竜を殺される。」（イザヤ27:1）

このように、すべての悪魔の生き物、悪魔の軍勢は、その日に裁かれます。これで足りなければ、その時の諸国はどうでしょうか？ヨエル3章

**「見よ。わたしがユダとエルサレムの繁栄を元どおりにする、その日、その時、わたしはすべての国民を集め、彼らをヨシャパテの谷に連れ下り、その所で、彼らがわたしの民、わたしのゆずりの地イスラエルにしたことで彼らをさばく。彼らはわたしの民を諸国の民の間に散らし、わたしの地を自分たちの間で分け取ったからだ。」 (ヨエル3:1-2)**

見てください。イスラエルを憎み、彼らに危害を加えた事で、神が諸国を罰せられます。信者がイスラエルを憎むなんて、考える事すら可能でしょうか？私がこれと言っているのは、あまりにも多くの自称クリスチャンが、熱心な反ユダヤ主義者であるのを見ているからです。しかもそれらは主要な教会です。他の場所だけでなく、アメリカ合衆国で。イスラエルにとっては、これはヤコブの苦難の時です。人が作った宗教や伝統では救われない、それは失敗するという事を、国家としてイスラエルが理解する時、その時が来ると、イスラエルは理解するでしょう。「私達のトーラやタルムード、ミシュナー、そしてミドラッシュの解釈、私達のラビ達、私達のラビ群勢は、私達に解決策を与えることは出来ない。」

聖書は、ホセア5:15で告げています。

**「彼らが自分の罪を認め、わたしの顔を慕い求めるまで、わたしはわたしの所に戻っていよう。彼らは苦しみながら、わたしを捜し求めよう。」 (ホセア5:15)**

イスラエルが、このような激しい苦しみの中に置かれて、彼らはやっと真剣に主を求めます。そして、宗教ごっこを止め、自分の行為、自身の”ミツツヴァー”によっては救われない事を理解します。ただユダヤ人であるという所属によって救われる事は無い。そうではなく、彼らは理解する必要があります。

**「わたし (イエス、メシア) を通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」 (ヨハネ14:6)**

誰一人として！エレミヤは言います。先ほど引用しましたが、

**「ああ。その日は大いなる日、比べるものもない日だ。」 (エレミヤ30:7)**

そして、私が引用したかったのは、ダニエル12:1。ダニエルの言葉に注目してください。

**「その時、あなたの国の人々を守る大いなる君、ミカエルが立ち上がる。」**

ガブリエルは、ミカエルについてダニエルに告げています。ガブリエルは国連からで、彼は国際問題を取り扱います。ミカエルはイスラエルを守る御使いです。さて、これを見てください。

**「その時、あなたの国の人々を守る大いなる君、ミカエルが立ち上がる。国が始まって以来、その時まで、かつてなかったほどの苦難の時が来る。」**

私は何を言おうとしているか分かりますか？イスラエルが経験して来たすべての大量虐殺は、どれも大患難の時代に経験する事とは比べ物になりません。しかし、ここでの鍵はこれです。見てください。

**「しかし、その時、あなたの民で、あの書にしるされている者はすべて救われる。」**

しかし、ダニエルは、ここで爆弾を受け取ります。彼は、誰が救われると言っていますか？全て…誰ですか？「あの書にしるされている者は、すべて救われる。」どの書？いのちの書です。いのちの書に書かれて

いるのは誰ですか？イエスの信者です。彼が今言ったことを理解していますか？彼は言いました。イスラエルは、救われる為には”いのちの書”に名前が記されていなければならない。つまり、彼らは彼らのメシヤを受け入れなければなりません。多くの人が大患難の激しさを理解していません。だから彼らは、ロックダウンやワクチンか何かを大患難だと思っているのです。彼らは理解していません。それらは、大患難にかすりもしません。大患難は、それを描写する言葉さえありません。

皆さんが多かれ少なかれ理解するように、この表を用意しました。7つの封印、7つのラッパ、7つの鉢、反キリストが興り、偽りの平和、戦争、飢饉、死。世界の人口の4分の1の死…20億人以上が死亡します。地と天が揺れ、144,000人に刻印が押され、天での静けさ、それから3分の1の草木が破壊されます。海の中にいたいのちのあるものの3分の1が死に、舟の3分の1も打ちこわされた。それは、まだラッパの裁きです。太陽と月と星の三分の一は暗くなり、これで足りなければ、悪魔のいなごです。これは黙示録だけでなく、ヨエルがすでに予測しています。第二の災い、火、硫黄、そして、残りの3分の1が殺されます。二人の預言者が説教し、奇跡を起こす。キリストの統治が予見されますが、しかし、その後、7つの鉢が来ます。腫れ物があり、すべての海の生命は滅びます。地球上のすべての水が苦くなり、灼熱の太陽が人々を襲う。彼らは救済策を見つける事すら出来ません。人々が太陽に焼かれるのです。深い闇、反抗的な人間が神を呪う…彼らは神にはこれらのことを止める力がある事を知りながら悔い改めず、神の御名を冒瀆します。ユーフラテス川が干上がり、ハルマゲドンの戦い、世界的な地震、バビロンが滅び、巨大な雹が上から降って来る。これらは、いずれも起こっていません。このすべてが起こります。そして、それが起こるとき、私達はここに居ません。これは神の裁きです。それは主の日です。グッドニュースは、この地上の邪悪な人々に対する神の裁きは、義人が連れ去られた後で起こります。「どうして、そんな事が分かるんだ？」「何言ってるんだ？」さて、第一テサロニケ5:9 は言います。

	SEALS (REVELATION 6)	TRUMPETS (REVELATION 8,9,11)	BOWLS (REVELATION 15,16)
1	ANTI-CHRIST - FALSE PEACE	1/3 TREES GRASS DESTROYED	BOLS
2	WAR	1/3 SEA LIFE SHIPS DESTROYED	ALL SEA LIFE IS DESTROYED
3	FAMINE	1/3 FRESH WATER POISONED	ALL WATER POISONED
4	DEATH	1/3 SUN MOON STARS DARKENED	SCORCHING SUN
5	DEATH 1/4 POPUL DESTROYED	1ST WOE DEMONIC LOCUSTS	DEEP DARKNESS REBELLIOUS KINGDOM CHASES GOD
6	EARTH HEAVEN HALLOW SEA	7つの封印、7つのラッパ、7つの鉢、 反キリストが興り、偽りの平和	ELIMINATES RIVER DRY TYPE OF BOMBING
7	SILENCE IN HEAVEN		WORLDWIDE EARTHQUAKES NATURAL DESTROYED WIDE RAINFALL

**「神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく、主イエス・キリストにあって救いを得るようにお定めになったからです。」 (第一テサロニケ5:9)**

皆さん、ご存知でしたか？私は2世紀の教会の父祖の手記を読みましたが、彼らは、すでに大患難前携挙を信じていました。なぜか？それは、当時の教会で混乱が始まっているのを彼らはすでに見たからです。イレネウスは、異端に反対して本『異端反駁』を書いています。第五の5巻です。読んでください。まあ、読もうとしてください。驚きです。これは19世紀の発明ではありません。これは私達が互いに慰め合う為に考え出した新しい発想ではありません。違います！これは聖書であって、後には、すでに2世紀に教会の父(教父)によって理解されていたのです。第2テサロニケ2:7-8

**「不法の秘密はすでに働いています。しかし今は引き止める者があって、自分が取り除かれる時まで引き止めているのです。」 (第二テサロニケ2:7-8)**

黙示録3:10フィラデルフィアの教会に宛てて、彼は言います。

**「あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、…試練の時には、あなたを守ろう。」**

ところで、同じ事をイレネウスが言っています。「わたしも、…全世界に来ようとしている試練の時には…」誰の上に？覚えていますか？「地上に住む者たち」それについて話しましたね。主は、私達にそれを経験させるのではなく、私達をそこから守られます。私にとっては、それを言及しておくことがとても重要です。物事は良くなりませんから。私には激励の賜物があります。ただ言っておきますが、皆さんは、まだ何も見ていません。それから、皆さんが理解する為に言いますが、もし、あなたが御言葉に留まっていないなら、そしてもし、あなたが私達が持っている約束にしがみついていなければ、覚えておいてください。

**「約束された方は真実な方です。」(ヘブル10:23)**

彼は、変わることがありません。

**「私たちは真実でなくても、彼は常に真実である。彼にはご自身を否むことができないからである。」**

**(第二テモテ2:13)**

それが、私達が仕える神です。神は、あなたの承認を待っておられません。「私がこれをするのを許可しますか?」いいえ! 私はいつも言いますが、私達が生きている世界を、神はすでにご覧になって、そして感謝な事に、主は私達に添付ファイル付きの電子メールを送って、そして正確に何が起こるかを私達に教えておられるのです。主の恵みによって。イザヤ46:9-10

**「…わたしが神である。ほかにはいない。わたしのような神はいない。わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、『わたしのはかりごとは成就し、わたしの望む事をすべて成し遂げる』と言う。」(イザヤ46:9-10)**

神は驚かされません。教会は花嫁としての地位を失いません。オーストラリアでロックダウンがあったからといって、またはアメリカやどこから、他の事が起こっているからといって。いいえ! ほら、物事はどんどん悪くなり、今よりもさらに悪くなります。しかし、私達には主が来るまで従事するよう命じられているのです。私達は、決してここでバラ色の人生は約束されていません。イエスは仰いました。「この世にあって…」彼は、「すべてが素晴らしい」と仰いましたか? 彼は仰いました。彼は、決して弟子たちに嘘をつかれませんでした。そして、彼は仰いました。

**「…あなたがたは、世にあっては患難があります。」**しかし、それから仰いました。「…しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」(ヨハネ16:33)

皆さん、知っておいてください。信者の希望は、私達の政府ではありません。「でも、私は第45代目に戻って来て欲しい!」あなたにはイエスが必要です。私を信じてください。私の国でも指導者が取り除かれ、今、新しい政府があります。彼らの物事の進め方を見て、私は吐きそうです。でも最近、私はこれまで以上に、私の天の国籍を握りしめています。私の天のパスポートは、いつでもスタンプが押される用意ができています。そして、覚えておいてください。どうか忘れないでください。終わりの時は明らかに予告されています。イエスは、弟子たちに対して、とても寛大で、オリーブ山で彼らと座り、時間を取って詳細に説明されました。オリーブ山の垂訓は驚くべき聖書の預言的な部分で、実際、世に存在する信仰の中で、聖典のほぼ3分の1が将来の出来事について告げているのは私達だけです。神は、今後起こる事を私達に告げる事を恐れませんでした。私達の神は、何が起こるかをご存知でしたから。これは、「多分」とか、「かも知れない」とか、「きっと」、ではありません。これは確かなことです。私達の人生と世の出来事は、2つの異なるものです。世の出来事は、あなたが好もうと好まざるとも起こります。しかし、あなたの人生で、あなたが下す決定は、これらの世界の出来事が起こる時の、あなたの居場所を決定します。それを理解していますか? 「でも、大患難の時、私はここにいたいんだ!」どうぞ、好きにしてください! あなたがいない方が、あちらでは楽ですよ。もっとスペースが出来ますから。いったい全体、なぜ大患難を経験したいのか? 「だって、教会は苦しむべきだと思うから。」本当に? 何のために? 私達の救いを正当化するに? それは私達次第のですか? 私達の苦しみの大きさによるのですか? そうすれば、「よし、これで私も救いに値する」と言えるのですか? いいえ。あなたは救いに値しません。あなたは義人ではありません。「ちょっと待って! 私は善人ですよ!」いいえ、違います。

**「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず…」(ローマ3:23)**

神は、神の恵みにより、十字架上のイエスの死と血の贖いによって、あなたを救われたのです。あなたが人生の中で行った何か良い行いの為ではありません。そして、唯一、主がしてくださった事に対する信仰に

よってのみ、救われるのです。何一つとして、それに追加する事は出来ません。行いは、あなたの救いの副産物であって、救いの前提条件ではありません。救われる為に、A、B、C、Dをする必要はありません。彼が、そのすべてをして下さったのです。あなたは、ただ信じるだけです。ですから、私達の希望は、まもなく私達の王にお会いする事です。聞いてください。私達の希望はイエス・キリストにお会いする事です。反キリストではなく。それを覚えておいてください。そして、私達の希望は、約束した方は真実であられる事。神の約束はことごとく、「しかり」であり「アーメン」です。覚えておいてください。主が約束された事は全て成就します。

では、大患難は始まったのでしょうか？ええっと…「いいえ!」

お父様、あなたの御言葉に感謝します。あなたの約束に感謝します。聖書にある明確な指導に感謝します。お父様、感謝します。もし私達があなたの御言葉の中にいるなら、私達が良いベレア人であるなら、私達は準備ができています。私達は準備ができていだけでなく、私達の喜びが盗まれる事はありません。私達の希望が盗まれる事はありません。私達は希望のない人たちにはなりません。そして、父よ。あなたの御言葉を通して、あなたは約束してくださいました。本当にもうすぐ、あなたはイエスを雲の中に送られ、私達は空中で主にお会いします。そして、あなたは私達に仰いました。「このことばをもって互いに慰め合いなさい。」ですから、私達はこの約束を握りしめ、私達が持っているこの希望に感謝します。お父様、私達が、御怒りに会うように定められていない事を感謝します。私達を全世界に来ようとしている試練の時から救ってくださる事に感謝します。あなたに感謝します。あなたは、あなたの子供たちを愛され、あなたの花嫁が結婚式に到着する前にボロボロになる事を望んではおられません。あなたに感謝します。あなたは、間もなくあなたの花嫁を迎えに来られます。あなたを愛し、あなたを祝福して、あなたを礼拝します。あなたを、私達の主であり救い主として個人的に知っている事を、とても嬉しく思います。そして、私達はこのすべてを祈ります。この全てを、他にないイスラエルの聖なる方、王の王、主の主、神の子羊、ユダ族の獅子、インマヌエル、平和の君、私達が生きるために死んで下さった方、全てに勝る御名を持つ方、平和の主であられる方、今よりとこしえに、ここでもどこにおいても私達に平和を与えることができる方、彼の御名はイエシュア、イエス、彼は私達の救いです。そして唯一、主の御名によってのみ、私達は祈ります。そしてすべての神の民は言います。

アーメン。



☞ スマートフォンなどのカメラで読み込むと、YouTubeのメッセージが見れます。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2021.09.10 (Fri)